

**地域密着型サービス 運営推進会議 報告書**

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日時：令和3年6月4日（金曜日）10時00分～11時00分

場所：しおさい会議室

出席者：8人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設長 施設課長 主任）			3名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 20名（退所0名 入所2名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 8名 ・ 要介護4 12名  
要介護3 0名 ・
- ③ 男女比率 男性6人 ・ 女性13人
- ④ 年齢 61歳～97歳 平均87.2歳

介護状況

- ① 介護職員数 12名
- ② 有資格者数 10名（介護福祉士）
- ③ 感染症罹患者 0名
- ④ 苦情相談 0件
- ⑤ 身体拘束 0件
- ⑥ 介護事故 4月～5月 5件  
(表皮剥離1件、座り込み1件、転倒2件、皮下出血1件)
- ⑦ 外出者 1名（医大病院 定期受診）
- ⑧ ボランティア 0件

- ⑨ ユニット行事 花見、日光浴、カラオケ等
- ⑩ その他 母の日、父の日行事として、『しおさい感謝祭(お茶会)』

## 1、施設長挨拶

昨日の島根のコロナ罹患者は 0 名でした。このまま落ち着いてくれたら良いのですが…。しおさいは 2 回目のコロナワクチン接種に入りました。発熱の副反応は数名おりました。若い年齢に反応が出やすかったです。高齢者の方は比較的落ち着いておられます。面会に関しても引き続き、窓越し面会をお願いしていますが、ターミナルの方に限り直接面会を許可しています。他施設でクラスターが発生しているので用心しています。

## 2、サービス提供の状況

### ○利用状況、サービス提供の状況、取組など

- ・ 離床介助必要者は 20 名
  - ・ 排せつほぼ全介助者は 15 名
  - ・ 入浴個浴（リフト浴）16 名、特浴は 4 名
  - ・ 胃ろう、褥瘡、重度拘縮、身体拘束、苦情相談は 0 件
- 褥瘡に関しては、褥瘡委員会があり、職員にも栄養状態、清潔保持、除圧努め、発赤の時点での早期対処により、現在は褥瘡ゼロが継続しております。

### ○行事報告

5/11 に母の日と父の日を一緒に「しおさい感謝祭」としてお茶会を行いました。例年はボランティアをお願いしておりますが、去年は中止、今年は施設内でできるイベントを考えました。久しぶりに飲むお抹茶を喜ばれ、ゲームコーナーも設けました。以前寄付で頂いた、出てきたワニをたたくゲームやボール投げが好評でした。いつでもできるよう継続して交流ホールに設置しておく予定です。

日頃の活動としては、花見、日光浴、畑作り、カラオケなどを行っています。

### ○令和 3 年度事業計画

今年は介護保険報酬改定により大きな変更がありました。ケアの質を全国統一的

な基準で加算評価する部分が大きく増えました。当事業所としては褥瘡ケア、排泄ケアの加算について算定をさせていただくこととしています。看取りについても加算の変更が行われました。

また、今回から自立支援・重度化防止を目的として、LIFE (Long-term care Information system For Evidence) という、介護の情報を分析してより効果性の高い介護サービスにしていこうという大規模データベースが本格運用されています。厚労省に介護に関する情報を報告し、分析結果をもとにケアを見直すというものです。当事業所でも PDCA サイクルによるケアの質の向上に努めます。

報酬改定とは関連がありませんが、介護福祉士を目指す学生の実習受け入れを行っていくうえの要件として、介護支援専門員が作成するケアプランとは別に、運営基準を上回る形で介護職員が介護計画を立案しながらケアに当たることが求められており、学生指導だけでなく、職員の資質向上の柱の一つとして取り組んでいきます。

「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」は、介護の実践力を共通のものさしで測り、その評価に基づく指導育成を進めていく制度で、比較的新しい制度です。島根県は取得率が 45 位と全国的には下位ですが、島根県の中では大田市が 1 位、大田市の認定者の多くはしおさいの職員です。

運営団体が示しているレベル内容と当事業所の現実の能力に相当な差があり、レベル 2 - ② (介護職員初任者研修修了程度) が介護福祉士取得レベル、レベル 3 (介護福祉士実務者研修) がベテラン職員、責任者クラス、レベル 4 (介護福祉士取得程度) が主任ケアマネージャー、地域コーディネーターする立場の職員のレベルと考えて、現在レベル 2-②の取得を進めています。

1 人の認定に半年程度かかりますが、職員の実力アップはサービスの向上につながります。島根ではまだまだ認知度の低いものですが、全体で取得し職員、事業所の強みにしていきたいと思えます。

### 3、サービスへの要望、助言、質問等

(家族) しおさいは半分程度のワクチン接種でしたが、全体で 70%以上でないとクラスターがおこる可能性は免れないですね。

→ (施設) 嘱託医はワクチン接種には現時点では健康を害する可能性が高いとのお考えで推奨されていません。認知症高齢者に対しては本人の意思確認が難しいのに、家族の判断だけでリスクの高い接種をしても良いのかとも考えておられます。その結果、ご利用者も様子見の方が多いです。職員も任意ですので、希

望しない職員も半数おりました。

→（家族）市の方から協力はしてもらえないのですか？

→（市役所）ワクチン接種についてお願いに行きましたが、先生は長期的なリスクを考えていらっしゃるの、やはり積極的にはされない意向でした。

（地域）面会者は家族が多いですが、後見人の方もおられますか？

→（施設）以前に比べて多くなっています。

（市役所）市民センターの社協の方で 14~15 人サポートして下さる方がおられると思います。後見人は存命中の間担当され、亡くなられた時点で終了となりますが、実際には逝去後のお世話をされるケースが多いです。

（地域）キャリア段位制度をすることで、金銭的なメリットはありますか？

→（施設）金銭的メリットは全くありません。自分のレベルが分かるのにはよい制度だと思っています。また、それでサービスの向上につながれば良いです。

（地域）介護保険料が上がっていますね。利用者の数が増えれば保険料も上がりますね。

→（大田市）市としても心苦しいです。

（大田市）コロナの対応も 2 点、3 点付け加えてもらっており、その都度対応してもらいありがとうございます。法改正で大変なことは承知しています、できるだけ情報は早く伝えていきたいと思っています。

（施設）検査キッド（唾液でできる）を配布するとの通知を受けています。数量や時期はいつごろになりますか？

→（大田市）後日、返答します。

## 5. 次回予定

令和 3 年 8 月 6 日（金曜日）10 時～11 時